

平成24年度事業報告

公益社団法人 いいがた被害者支援センター

項 目	事 業 内 容	
1 事業方針	犯罪等により被害を受けた被害者やその家族及び遺族に対し、支援活動員による被害者支援活動を行うとともに、県民に対する広報啓発活動を推進し、被害者支援の必要性や重要性を呼び掛け、社会全体の被害者支援意識高揚を図り、被害者支援の輪を広げる。	
2 事業内容	<p>いいがた被害者支援センターは、上記方針に基づき、関係機関、団体等と連携を図りながら以下の活動を行った。</p> <p>(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業…《公1事業》</p> <p>(2) 犯罪被害者等への直接支援事業……………《 》</p> <p>(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業……………《 》</p> <p>(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 ……《 》</p> <p>(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業……………《公2事業》</p> <p>(6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業……………《公3事業》</p>	
3 各事業別計画実施状況		
	事業内容	実績、場所等
	(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業	毎週月～金曜日 10:00～16:00(但し、 祝日を除く。)
	ア 電話相談	新潟ユニゾンプラザ ハート館
	イ 面接相談	
	(2) 犯罪被害者等への直接支援事業	県内及び東京都
	(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業	5月20日、7月8日、 9月9日、11月11日、 1月20日、3月10日 (13:30～15:30)
	(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業	

(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業	
<p>ア リーフレット、メモ帳等の広報資料の作成・配布及び公共交通機関等を利用した広報により、支援センターの相談窓口や活動内容等について広報するとともに社会全体の意識高揚を図るための啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、メモ帳、ポケットティッシュ等配布広報啓発 ・バス車内広告利用広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット5000部2回作成 ・メモ帳、ポケットティッシュ各5000部作成 ・4月～2月まで 安全安心県民大会、交通安全フェア等計11回実施 ・6～3月 新潟交通市内バス35台掲出
<p>イ 内閣府設定「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)に県民の被害者支援意識高揚のため、「犯罪被害者支援フォーラム2012inにいがた」を開催するとともに、街頭広報キャンペーン活動を行った。</p> <p>①街頭キャンペーン活動の実施 実施日 11月10日(土) リーフレット、メモ帳、ティッシュ等配布</p> <p>②「犯罪被害者支援フォーラム2012inにいがた」の共同開催 主催: 県、県警、当センター 開催日 11月16日(金)</p> <p>基調講演等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市万代地区、古町西堀地区の2か所で県警とセンター員26名が共同でリーフレット、メモ帳、ティッシュの他フォーラムチラシ、県警広報印刷物 両地区合計1000部街頭配布。 ・会場: 新潟県自治会館 ・講演「犯罪被害者に支援はなぜ必要か」～講師: 犯罪被害者遺族 糸賀 美恵 氏 ・センターの活動案内～専務理事 ・講師との意見交換会 ・参加者 170名
<p>ウ 年2回「支援センターだより」を発行し、支援センターの活動内容等を県民に広報するとともに社会全体に被害者支援の輪を広げる活動を推進した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 5000部発行 ・2月 5000部発行
<p>エ 各種団体の会議における資料配布、講話等を通じ被害者支援の理解を得て、団体及び個人賛助会員の入会や寄附をいただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンズクラブ 6回 ・ロータリークラブ 6回 ・その他新潟県商工会議所連合会ほか民間企業・団体 ○新規賛助会員入会 団体10、個人36
<p>オ 相談者がスムーズにセンターの電話番号を検索できるよう、NTTタウンページ電話帳にセンター広報広告を掲載した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から新潟市版に新規掲載
<p>カ 現行ホームページの内容を、より分かりやすく、必要に応じ、容易に変更できるようリニューアルした。 注: 平成23年度剰余金執行事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日運用開始 ・10～3月閲覧実績 トップページ 3,797件 全コンテンツ 14,457件
<p>キ 広く県民にセンターの存在を知ってもらうため、年間を通して地元紙に広報広告を掲載した。 注: 平成23年度剰余金執行事業</p>	<p>新潟日報朝刊紙上に年間 77回掲載 新潟よみうり紙上に毎月1回(無料)</p>

(6) 相談員・直接支援員の研修事業		
<p>ア 被害者支援に関わる分野の講師を招いて、継続研修、直接支援研修を実施し、支援活動員のレベルアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続研修 毎月第2火曜日、年間12回開催 ・直接支援研修 10月～2月 年間5回開催 	<p>毎月1回 年12回実施 延べ250名出席</p> <p>下半期予定 10～2月5回実施(11月は、フォーラム聴講) 延べ92名出席</p>	<p>新潟ユニゾンプラザ</p> <p>新潟ユニゾンプラザ</p>
<p>イ 全国水準の支援活動員を育成するため、全国被害者支援ネットワーク主催の各種研修会に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東・甲信越ブロック研修会 ・全国フォーラム・秋期全国研修会 ・全国コーディネーター研修会等 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月16～17日第1回関東甲信越ブロック研修会 横浜市3名 ・9月28～30日全国フォーラム・秋期全国研修会 東京都6名 ・9月10～11日性犯罪被害者支援セミナー 東京都 1名 ・11月5～6日 自助グループ継続研修会 東京都2名 ・1月30～2月1日全国コーディネーター中期研修会 東京都1名 ・2月23～24日第2回関東甲信越ブロック研修会 横浜市3名 	
<p>ウ 犯罪被害相談員候補者の育成のため、面接相談、直接支援、自助グループ支援等の実務を通じて、早期育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日6時間 週3日、1年間 <p>注:平成23年度剰余金執行事業</p>	<p>・平成24年度1年間 支援活動員1名</p>	
4 その他		
(1) 他機関等との連携等		
<p>ア 警察署被害者支援連絡協議会定期総会講演</p>	<p>・9月～2月まで 県内各警察署 12回実施</p>	
<p>イ 県警職員研修講義</p>	<p>10月17日 犯罪被害者支援専科35名 警察学校～センター 12月27日 津川署召集日講演</p>	
<p>ウ 全国ネットワーク、他県センターとの連携</p>	<p>・5月23～24日 新任事務局長研修会 東京都 ・9月7日 関東甲信越ブロック事務局長会議 東京都</p>	
<p>エ 県弁護士会との意見交換会</p>	<p>・5月15日 県弁護士会との意見交換会 17名出席</p>	
<p>オ 民生委員・児童委員への説明</p>	<p>・7月24日 上山地区民生委員・児童委員定例会 20名 ・9月4日 民生委員・児童委員協議会連合会理事会 40名</p>	

カ	新潟県被害者支援連絡協議会	・11月16日 定期総会
キ	新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会	・11月26日 定期総会
ク	全国被害者支援ネットワーク理事会・支援活動検討委員会	支援局長通年出席 4回
ケ	内閣府犯罪被害者等施策検討会議	支援局長通年出席 5回
コ	「いのちの大切さを学ぶ教室」講義	・7月20日 高柳中学校 ・11月1日 糸魚川中学校 ・11月20日 長岡北中学校
サ	その他講義等	・6月23日 県臨床心理士会被害者支援委員会 ・7月7日 青陵大学大学院 ・8月9日 精神保健福祉援助現場実習 ・9月29日 富山被害者支援センター ・10月6日 ステップ相談員継続講座 ・10月17日 被害者専科
(2)	財政基盤強化等管理運営	
ア	寄附金付被害者支援自動販売機の設置による寄付受入れ	・3月末現在設置台数 24年度 民間49台、県警34台、計83台 (+8台) ・24年度寄附金額1,423千円
イ	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加 イオン贈呈式 4月4日、9月11日、3月22日	ギフト券の寄贈 58千円相当事務用品類等購入
ウ	社員総会、理事会	・4月25日 第1回定時理事会 ・5月24日 定時社員総会 ・5月24日 臨時理事会 ・10月30日 第2回定時理事会 ・3月18日 第2回臨時理事会
エ	四役会議	・理事長、専務理事、支援局長、事務局長による事業計画等の検討会議 4月2日、4月23日、7月2日、10月29日、 1月25日、2月26日、3月6日